

ワークショップ1

「良性食道疾患（GERD、運動異常症、裂孔ヘルニア）に対する内視鏡・外科治療」

司会 永原 章仁（順天堂大学消化器内科）

小村 伸朗（独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院外科）

アカラシアに対する経口内視鏡下筋層切開術（POEM）が2016年に保険収載されてから5年以上が経過した現在、腹腔鏡下手術に代り第一選択治療になりつつある。2022年、胃食道逆流症に対する内視鏡的逆流防止粘膜切除術が保険収載されることとなり、今後広く普及していく可能性がある。一方、腹腔鏡治療のベネフィットもある。本ワークショップでは良性食道疾患に対する内視鏡・外科治療の適応を明確に提示し、その治療成績について論じて頂きたい。